

第1回 FLECフォーラム

～社会的養護の健全な発展のために～

主催：全国家庭養護推進ネットワーク
助成：日本財団

日程 2019年 2月2日（土）・3日（日）

会場 ベルサール神保町

FLECフォーラムとは

すべての子どもたちに家庭での生活を（Family Life for Every Child: FLEC）という思いをこめて、家庭養護とその関連分野にさまざまな立場で携わる関係者が集い、相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について意見を交わすことを目的に、FLECフォーラムを開催します。家庭養護の推進に興味・関心のある方はどなたでもご参加ください。

主なトピック

- ・これらからの社会的養護を展望するービジョン、計画策定要領の公表、そして都道府県計画の見直しに向けて
- ・里親を増やすための方策と家庭養護を推進するためのフォスタリング機関、児童相談所のあり方
- ・家庭養護の推進に向けた施設のあり方
- ・社会的養護と障害児施策、子育て支援、母子保健等の他施策との連携
- ・要保護児童を対象とした特別養子縁組の展望
- ・多様な子どものニーズに対応する家庭養護の質の向上
- ・今後の家庭養護の推進に向けて

全国家庭養護推進ネットワークとは

家庭養護とその関連分野の関係者相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、実効性のある施策について、志ある方々が、それぞれの主体間の垣根や主義主張の相違を超え、横断的に交流、討議するプラットフォームとして設立いたします。

全国家庭養護推進ネットワーク 共同代表



相澤 仁

大分大学
福祉健康科学部
教授



潮谷 義子

社会福祉法人慈愛園
理事長、
前熊本県知事



柏女 靈峰

淑徳大学
総合福祉学部
教授

平成28年の児童福祉法改正において、我が国の社会的養護においても、里親委託をはじめとする「家庭養護」が原則とされ、さらに子どもたちのパーマネンシー保障という観点から特別養子縁組を推進する方向も明確に打ち出されました。

今後、改正後の児童福祉法や先般の「新しい社会的養育ビジョン」（平成29年8月2日）、厚生労働省による「都道府県社会的養育推進計画の策定要領」を踏まえ、各都道府県においてこれまでの計画の見直しが進められますが、家庭養護を現場で実際に推進するためには、里親、ファミリーホーム、施設、児童相談所、民間養子縁組あっせん機関、フォスタリング機関、学会、行政、メディアなどの様々な関係者相互のネットワークを構築・強化するとともに、それぞれの現場で関係者が共通認識の下、密接に協力して具体的な対策に取り組むことが必要となります。また、今後は障害児施策や子育て支援施策、母子保健施策、学校教育等の関連分野との連携と協働も、ますます重要性を増してきます。

こうした現状を踏まえ、関係者相互のネットワークの構築・強化を図るとともに、具体的に講ずるべき実効性のある施策について、志ある方々が、それぞれの主体間の垣根や主義主張の相違を超え、横断的に交流、討議するプラットフォームを設けようと、今般「全国家庭養護推進ネットワーク」を立ち上げ、第一回「FLECフォーラム」を開催することとしました。

FLECとは、Family Life for Every Childの頭文字をとり、すべての子どもに家庭での生活を、という気持ちをこめて名付けました。このネットワークとフォーラムが、わが国のすべての子どもたちの未来を切り拓く一助となることを切に願っております。

全国家庭養護推進ネットワーク幹事

相澤 仁	大分大学福祉健康科学部教授	花田 悦子	児童養護施設「報恩母の家」施設長
新井 淳子	(一社)こどもみらい横浜会長	藤井 康弘	東京養育家庭の会理事、元厚生労働省障害保健福祉部長
柏女 靈峰	淑徳大学総合福祉学部教授	宮田 俊男	大阪大学産学共創本部特任教授、(医)DEN理事長
上鹿渡和宏	長野大学社会福祉学部教授	山本 節子	ファミリーホーム「ホームばあばば」
北川 聡子	(社福)麦の子会総合施設長	ロング朋子	(一社)ベアホープ代表理事
木ノ内博道	(特非)千葉県里親家庭支援センター理事長	渡邊 守	(特非)キアセット代表
潮谷 義子	(社福)慈愛園理事長、前熊本県知事		
都留 和光	二葉乳児院施設長		

2月2日 (土) FLECフォーラム 1日目

12:20	受付
13:00	代表挨拶 潮谷 義子 (共同代表/社会福祉法人慈愛園理事長、前熊本県知事)
13:10	全国家庭養護推進ネットワーク設立及びフォーラム開催の趣旨説明 柏女 霊峰 (共同代表/淑徳大学総合福祉学部教授)
13:25	来賓挨拶 濱谷 浩樹 (厚生労働省子ども家庭局長) 吉倉 和宏 (公益財団法人日本財団常務理事)
13:40 ~17:40	シンポジウム 「これからの社会的養護を展望する ービジョン、計画策定要領の公表、そして都道府県計画の見直しに向けてー」 課題提起： シンポジスト： 相澤 仁 (共同代表/大分大学福祉健康科学部教授) 奥山眞紀子 (国立成育医療研究センターこころの診療部統括部長) 津崎 哲郎 (全国里親会副会長、NPO法人児童虐待防止協会理事長) 藤林 武史 (福岡市子ども総合相談センター所長) 武藤 素明 (社会福祉法人二葉保育園二葉学園・二葉むさしが丘学園・トリノス統括施設長) 森下 宣明 (社会福祉法人和歌山つくし会 和歌山乳児院施設長) 渡邊 守 (NPO法人「キアセット」代表) 助言者： 柏女 霊峰 (共同代表/淑徳大学総合福祉学部教授) 藤原 朋子 (内閣官房内閣審議官 (子ども家庭局併任)) コーディネーター： 藤井 康弘 (東京養育家庭の会理事、元厚生労働省障害保健福祉部長)
17:40	休憩
18:00 ~20:00	レセプション

2月3日 (日) FLECフォーラム 2日目

9:00 ~11:30	<p>分科会 1</p> <p>里親を増やすための 方策と家庭養護を推 進するためのフォス タリング機関、児童 相談所のあり方</p> <p>コーディネーター： 柏女 霊峰 (淑徳大学 総合福祉学部教授)</p> <p>パネリスト： 新井淳子 (一般社団法人 「こどもらい横浜」会長) 河野洋子 (大分県福祉保健部 子ども・家庭支援課 参事) 栗延雅彦 (和歌山乳児院施設 長) 樽沼あづさ (NPO法人 「キアセット」マネージャー) 藤井康弘 (東京養育家庭の 会理事、元厚生労働省障害保健福祉 部長) 望月秀樹 (NPO法人静岡 市里親家庭支援センター事務局長)</p>	<p>分科会 2</p> <p>家庭養護の推進に向 けた施設のあり方</p> <p>コーディネーター： 山縣文治 (関西大学人間 健康学部教授)</p> <p>パネリスト： 相澤 仁 (大分大学福祉 健康科学部教授) 都留和光 (「二葉乳児院」 施設長) 花田悦子 (児童養護施設 「朝原母の家」施設長) 早川司司 (児童養護施設 「子供の家」施設長) 柳橋雄一 (児童養護施設 「聖母愛児園」主任)</p>	<p>分科会 3</p> <p>社会的養護と障害児 施策、子育て支援、 母子保健等他施策 との連携</p> <p>コーディネーター： 横堀昌子 (青山学院女子 短期大学子ども学教授)</p> <p>パネリスト： 北川聡子 (社会福祉法人 「妻の子会」総合施設長) 佐藤まゆみ (和洋女子 大学家政学部准教授) 澁谷昌史 (関東学院大学 社会学部教授 (厚生労働省子 ども家庭局長補佐)) 長田浩志 (NPO法人 「子ども家庭総合支援センター 所長・保健師)</p>	<p>分科会 4</p> <p>要保護児童を対象と した特別養子縁組の 展望</p> <p>コーディネーター： 木村容子 (日本社会事業大 学社会福祉学部教授)</p> <p>パネリスト： 赤尾さく美 (一般社団 体法人「全国妊娠 SOS ネットワ ーク」理事) 石川美絵子 (社会福祉法 人日本国際社会事業団 (ISSJ) 常務理事) 姜恩和 (埼玉県立大学社会 福祉子ども学 准教授) 米沢普子 (公益社団法人 「家庭養護促進協会神戸事務所」 主任ケースワーカー) ロンク朋子 (一般社団法 人「ヘアホープ」代表理事)</p>	<p>分科会 5</p> <p>多様な子どものニー ズに対応する家庭養 護の質の向上</p> <p>コーディネーター： 伊藤嘉余子 (大阪府立大 学地域保健学域教育福祉学類 教授)</p> <p>パネリスト： 上藤渡和宏 (長野大学 社会福祉学部教授) 木ノ内博道 (NPO法人 「千葉県里親家庭支援センター」 理事長) 山本節子 (ファミリー ホーム「ホームばあばば」) 米山 明 (社会福祉法人 「日本肢体不自由児協会心身障 児総合医療センター」 外来療育部長)</p>
11:30	休憩				
12:30 ~14:00	<p>「今後の家庭養護の推進に向けて」 座長：村木厚子 (元厚生労働事務次官)、潮谷義子 (共同代表/社会福祉法人慈愛園理事長、前熊本県知事) ○各分科会からの報告 ○今後のネットワークに期待するもの パネリスト 猪飼 周平 (一橋大学大学院社会学研究科教授) 唐澤 剛 (元厚生労働省家庭福祉課長、元内閣官房地方創生総括官) 榊原 智子 (読売新聞東京本社 調査研究本部 主任研究員) 高橋恵里子 (公益財団法人日本財団公益事業部国内事業開発チームチームリーダー) 永松 悟 (大分県杵築市長)</p>				
14:00	閉会の挨拶 相澤 仁 (共同代表/大分大学福祉健康科学部教授)				

全国家庭養護推進ネットワーク 設立発起人

- 相澤 仁（大分大学福祉健康科学部教授）
猪飼 周平（一橋大学大学院社会学研究科教授）
市川 亨（共同通信編集局生活報道部次長）
大谷 泰夫（日本保育協会理事長、元厚生労働審議官）
奥山眞紀子（国立成育医療研究センターこころの診療部統括部長）
大日向雅美（恵泉女学園大学学長）
影山 秀人（影山法律事務所弁護士）
柏女 霊峰（淑徳大学総合福祉学部教授）
上鹿渡和宏（長野大学社会福祉学部教授）
唐澤 剛（元厚生労働省家庭福祉課長、元内閣官房地方創生総括官）
木下 勝之（日本産婦人科医会会長）
榊原 智子（読売新聞東京本社 調査研究本部 主任研究員）
笹川 陽平（公益財団法人日本財団会長）
潮谷 義子（社会福祉法人慈愛園理事長、前熊本県知事）
澁谷 昌史（関東学院大学社会学部教授）
土井 香苗（ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表）
永松 悟（大分県杵築市長）
西澤 哲（山梨県立大学人間福祉学部教授）
西島 善久（公益社団法人日本社会福祉士会会長）
西田 陽光（一般社団法人次世代社会研究機構代表理事）
野澤 和弘（毎日新聞論説委員）
林 浩康（日本女子大学人間社会学部教授）
板東久美子（日本司法支援センター理事長）
福井トシ子（公益社団法人日本看護協会会長）
藤井 康弘（元厚生労働省障害保健福祉部長）
宮島 清（日本社会事業大学専門職大学院教授）
宮田 俊男（大阪大学産学共創本部特任教授、医療法人社団DEN理事長）
村木 厚子（元厚生労働事務次官）
村瀬嘉代子（一般財団法人日本心理研修センター理事長）
山縣 文治（関西大学人間健康学部教授）
山本 詩子（公益社団法人日本助産師会会長）
横倉 義武（公益社団法人日本医師会会長）
横堀 昌子（青山学院女子短期大学子ども学科教授）
米山 明（心身障害児総合医療療育センター外来療育部長）

開催のご案内

日時	2019年2月2日(土)	2月3日(日)
	12:20~13:00 受付	8:30~9:00 受付
	13:00~17:40 FLECフォーラム1日目	9:00~14:10 FLECフォーラム2日目
	18:00~20:00 レセプション	

定員	200人(先着順)	会場	ベルサール神保町(会場アクセス参照) 東京都千代田区西神田3-2-1住友不動産千代田ファーストビル南館
----	-----------	----	--------------------------------------------------------

参加対象 家庭養護の推進に興味・関心のある方はどなたでも

参加費 フォーラム参加費 (事前申込) 6,000円 (当日申込) 8,000円
レセプション (申込者のみ) 5,000円 ※ベルサール神保町にて立食

申込み方法 添付の参加申込書に必要事項を記入の上、FAX/郵送/メールにてお申込みください。
申込書がお手元にない場合にはHP (<https://isephp.org/>) からダウンロードいただくか、事務局へお問い合わせください。
申込〆切: 2019年1月10日(木) 24:00

- 留意事項
- ・費用(参加費6000円、レセプション費5000円)の支払いは事前振り込みにてお願い致します。申込者に「申し込み内容確認書兼請求書(振込先案内)」をお送り致します。
 - ・ご入金確認後に「参加証明書」を発行します。当日は「参加証明書」をご持参下さい。
 - ・ご入金後1週間以上たっても「参加証明書」が届かない場合には事務局までご連絡下さい。
 - ・レセプションの参加を希望する方は、事前の申し込みをお願い致します。
 - ・参加費は2日間共通です。1日ごとの価格設定はありません。
 - ・申し込み後の参加費・レセプション費の返金はいたしませんのでご了承下さい。
 - ・昼食は各自でご持参ください。
 - ・会場のキャパシティの都合で先着順とさせていただきます。定員に達した場合、参加をお断りする場合や早期に申し込みを締め切る場合がございます。
 - ・事前申し込みで定員に達した場合、当日の参加をお断りする場合や立ち見をお願いする場合がございます。
 - ・領収書は原則として発行致しません。銀行等の振込明細書をもって領収書に替えさせていただきます。清算処理等でどうしても必要な場合は、当日受付で「発行依頼書」をご記入下さい。お帰りまでに準備致します。

お問い合わせ:



一般社団法人
共生社会推進プラットフォーム
Inclusive Society Empowerment Platform

TEL 03-6276-5280

FAX 03-6276-5206

Email info@isephp.org

URL <https://isephp.org/>

主催: 全国家庭養護推進ネットワーク

<会場アクセス>



ベルサール神保町
(住友不動産ファーストビル南館)

最寄り駅より

- 「九段下駅」7番出口徒歩3分(東西線)
- 「九段下駅」5番出口徒歩4分(半蔵門線・新宿線)
- 「神保町駅」A2出口徒歩5分(半蔵門線・新宿線・三田線)
- 「水道橋駅」A2出口徒歩11分(三田線)
- 「水道橋駅」西口出口徒歩8分(JR線)

丸の内線・丸の内線エリアには「ベルサール」が3会場ございます。ご注意ください。

第1回 FLECフォーラム 参加申込書

【FAX : 03-6276-5206】※送信状は不要。

【Email info@isephp.org】

全国家庭養護推進ネットワーク事務局 宛

 /

ふりがな				〒 (-)	
1.参加者氏名	2.連絡先住所				
	※どちらかに○を (自宅・勤務先)				
3.所属先名					
4.電話番号 (自宅・勤務先)			5.FAX番号 (自宅・勤務先)		
6.Email					
7.「申し込み内容 確認書兼請求書」 と「参加証明書」 の送付方法の希望 (いずれか一つに○を記入 して下さい)	FAX		Email		郵送
					8.今後の全国家庭 養護推進ネット ワークの活動に関 するご案内を希望 しない(※)
				※なるべくFAX又はEmail でお願い致します。	
				※希望しない場合は チェック(○)を入れて ください。	

◆事務局使用欄◆

受付入力

内容確認書発行

返信・発送

入金確認

参加証明書発行

9.参加希望(※) (いずれか一つに○を記入し て下さい。)	2月2日・3日 (両日)	2月2日のみ	2月3日のみ		
10.2月3日の分 科会の希望(※) (いずれか一つに○を記入し て下さい)	分科会1	分科会2	分科会3	分科会4	分科会5
11.レセプション 参加費：5000円 (いずれか一つに○をして ください。)	申し込む	申し込まない			

変更受付

※「9.参加希望」と「10.2月3日の分科会の希望」は会場設営の参考とさせていただくためのアンケートです。記入後の変更は可能であり、変更のご連絡は不要です。

※ 全国家庭養護推進ネットワーク事務局では、プライバシーの尊重と保護の重要性を認識し、個人情報を適切かつ厳重に管理致します。お申込みの際にご記入いただいた個人情報は、フォーラムのお申込み事項の履行やその管理のほか、今後の全国家庭養護推進ネットワークの活動に関するご案内の送付以外には使用致しません。なお、上記8にて、ご案内の送付を希望しないにチェックされた方には、ご案内は送付致しません。

【問い合わせ先】

全国家庭養護推進ネットワーク事務局 (一般社団法人 共生社会推進プラットフォーム)
 電話:03-6276-5280 FAX:03-6276-5206 Email: info@isephp.org
 住所:〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-10-7島村ビル2階